

I. 前橋市公共下水道事業計画書(変更)

公 共 下 水 道 管 理 者 前橋市公営企業管理者

工 事 の 着 手 年 月 日 昭和 27 年 9 月 12 日

工事の完成予定年月日 令和 8 年 3 月 31 日
令和 13 年 3 月 31 日

(第1表-1)

予 定 処 理 区 域 調 書			
処理区域の面積		1,171.6 1,418.4	ヘクタール
		処理区域内の地名	前 橋 市
処 理 区 の 名 称	面 積 (ヘクタール)	処 理 区 域 内 の 地 名	摘 要
前橋処理区	1,171.6 1,418.4	大手町一丁目, 大手町二丁目, 大手町三丁目, 紅雲町一丁目, 紅雲町二丁目, 本町一丁目, 本町二丁目, 本町三丁目, 表町一丁目, 表町二丁目, 南町一丁目, 南町二丁目, 南町三丁目, 南町四丁目, 岩神町一丁目, 岩神町二丁目, 岩神町三丁目, 岩神町四丁目, 昭和町一丁目, 昭和町二丁目, 昭和町三丁目, 平和町一丁目, 平和町二丁目, 国領町一丁目, 国領町二丁目, 住吉町一丁目, 住吉町二丁目, 朝日町一丁目, 朝日町二丁目, 朝日町三丁目, 朝日町四丁目, 千代田町一丁目, 千代田町二丁目, 千代田町三丁目, 千代田町四丁目, 千代田町五丁目, 三河町一丁目, 三河町二丁目, 城東町一丁目, 城東町二丁目, 城東町三丁目, 城東町四丁目, 日吉町一丁目, 若宮町一丁目, 若宮町二丁目, 若宮町三丁目, 若宮町四丁目, 文京町一丁目, 文京町二丁目, 文京町三丁目, 文京町四丁目, 朝倉町一丁目, 朝倉町二丁目, 朝倉町三丁目の各全部朝倉町四丁目, 日吉町二丁目, 日吉町三丁目, 日吉町四丁目, 城東町五丁目, 西片貝町五丁目上小出町一丁目, 下小出町一丁目, 下小出町二丁目, 天川町, 天川大島町の各一部天川原町一丁目, 天川原町二丁目, 六供町一丁目, 六供町二丁目, 六供町三丁目, 六供町四丁目, 六供町五丁目の各全部 (南町一丁目、南町二丁目の一部) (三河町一丁目の一部) (文京町四丁目の一部) (天川大島町の一部)	合 流 式 1,019.6 ヘクタール (南町分流化区域) (24.0 ヘクタール) (三河町分流化区域) (12.0 ヘクタール) (文京町分流化区域) (15.0 ヘクタール) (天川大島町分流化区域) (17.6 ヘクタール)

*処理区域内の地名の()は、地域内の摘要

(第1表-2)

予 定 処 理 区 域 調 書			
処理区域の面積		1, 171. 6 1, 418. 4	ヘクタール
処理区域内の地名		前 橋 市	
処 理 区 の 名 称	面 積 (ヘクタール)	処 理 区 域 内 の 地 名	摘 要
前橋処理区	1, 171. 6 1, 418. 4	六供町四丁目, 六供町五丁目の全部天川町, 天川原町一丁目, 天川原町二丁目, 朝倉町一丁目, 朝倉町二丁目, 六供町一丁目, 六供町二丁目, 六供町三丁目の各一部	分流式・汚水 (152 ヘクタール) (南部処理分区)
		— 高花台一丁目, 高花台二丁目, 三俣町一丁目, 三俣町二丁目の各全部嶺町, 小坂子町, 勝沢町, 鳥取町, 五代町, 小神明町, 上沖町, 下沖町, 端気町, 幸塚町, 三俣町三丁目, 西片貝町一丁目, 西片貝町五丁目, 城東町四丁目, 日吉町二丁目, 日吉町三丁目, 日吉町四丁目の各一部	— 分流式・汚水 (246. 8 ヘクタール) (芳賀処理分区)

＊処理区域内の地名の（ ）は、地域内の摘要欄区域の地名

(第1表-3)

予 定 排 水 区 域 調 書			
排水区域の面積		220.6 ヘクタール	排水区域内の地名
排水区 の 名 称	面 積 (ヘクタール)	排 水 区 域 内 の 地 名	摘 要
六 供 第 一 排 水 区	101.0	六供町四丁目の全部, 天川町, 天川原町一丁目, 天川原町二丁 目, 六供町一丁目, 六供町二丁 目, 朝倉町一丁目, 朝倉町二丁目 の各一部	前橋処理区 (南部処理分区)
六 供 第 二 排 水 区	51.0	六供町三丁目の一部, 六供町五丁 目の全部	前橋処理区 (南部処理分区)
南 町 排 水 区	24.0	南町一丁目、南町二丁目の各 一部	(南町分流化区域)
三 河 町 排 水 区	12.0	三河町一丁目の一部	(三河町分流化区域)
文 京 町 排 水 区	15.0	文京町四丁目の一部	(文京町分流化区域)
天 川 大 島 町 排 水 区	17.6	天川大島町の一部	(天川大島町分流化区域)

(第2表)

予 定 排 水 区 域 調 書			
排水区の名称	計画降雨量		摘 要
	一時間当たりの降雨量 (単位：ミリメートル)	確率年	
第一排水区	50.0	5	
第二排水区	55.0	5	降雨強度1.1倍区域
第三排水区	50.0	5	
第四排水区	55.0	5	降雨強度1.1倍区域
第五排水区	55.0	5	降雨強度1.1倍区域
第六排水区	55.0	5	降雨強度1.1倍区域
六供第一排水区	63.5	5	
六供第二排水区	63.5	5	
南町排水区	63.5	5	
三河町排水区	63.5	5	
文京町排水区	63.5	5	
天川大島排水区	63.5	5	

(第3表-1)

吐口調書							
処理 区 の 名 称	吐 口 の 種 類	吐 口 の 番 号 又 は 名 称	吐口の位置又は名称	計画放流量	放流先の 名 称	放流先の水 位	摘 要
前 橋 処 理 区	雨水吐室	1	紅雲町一丁目24-1先	1.890 2.006 m ³ /秒	利根川	TP +98.03	第一排水区
	雨水吐室	2	大手町一丁目12-3先	0.503 0.501 m ³ /秒	利根川	TP +98.38	第一排水区 スクリーン
	雨水吐室	3	南町一丁目1先	1.138 1.352 m ³ /秒	利根川	TP +96.83	第二排水区 スクリーン
	雨水吐室	5	南町二丁目18-5先	0.651 0.196 m ³ /秒	利根川	TP +89.04	第二排水区 スクリーン
	処理施設	9-1	前橋水質浄化センター	0.601 0.570 m ³ /秒 2.217 1.875 m ³ /秒	利根川	TP +92.48	(晴天時処理水量) (雨天時処理水量)
	雨水吐室	9-2	六供町三丁目1-1先	2.227 2.429 m ³ /秒	利根川	TP +93.02	第六排水区 スクリーン
	雨水吐室	10	千代田町三丁目11-6先	1.250 1.283 m ³ /秒	広瀬川	TP +103.49	第三排水区 スクリーン
	雨水吐室	11	昭和町三丁目26-6先	0.387 0.386 m ³ /秒	広瀬川	TP +110.2	第三排水区 フェンス
	雨水吐室	12	昭和町三丁目18-16先	0.822 0.820 m ³ /秒	広瀬川	TP +110.8	第三排水区 スクリーン
	雨水吐室	14	岩神町一丁目13先	1.439 1.436 m ³ /秒	利根川	TP +102.0	第三排水区 スクリーン
	雨水吐室	16	岩神町三丁目3-2先	0.217 0.216 m ³ /秒	広瀬川	TP +110.5	第三排水区 スクリーン
	ポンプ施設	17	天川ポンプ場	1.504 1.435 m ³ /秒	広瀬川	TP +90.12	第三排水区 スクリーン
	雨水吐室	18	朝日町四丁目25-7先	4.314 4.481 m ³ /秒	広瀬川	TP +94.48	第四排水区 スクリーン
	雨水吐室	19	天川町1627番地先	1.070 1.178 m ³ /秒	広瀬川	TP +88.58	第四排水区 スクリーン
	雨水吐室	20	千代田町五丁目18-1先	0.000 0.044 m ³ /秒	広瀬川	TP +102.93	第四排水区 フェンス
	雨水吐室	21	朝日町四丁目7-16先	1.385 1.407 m ³ /秒	広瀬川	TP +93.75	第四排水区 フェンス
	雨水吐室	23	住吉町二丁目3-29先	3.098 3.220 m ³ /秒	広瀬川	TP +103.12	第四排水区 フェンス

(第3表-2)

吐口調書							
処理 区の 名称	吐 口 の 種 類	吐 口 の 番 号 又 は 名 称	吐口の位置又は名称	計画放流量	放流先の 名称	放流先の水 位	摘 要
前 橋 処 理 区	雨水吐室	24	城東町四丁目30-1先	0.845 1.357 m ³ /秒	広瀬川	TP +98.79	第五排水区 スクリーン
	雨水吐室	25	城東町四丁目15-1先	0.190 0.233 m ³ /秒	広瀬川	TP +100.34	第五排水区 スクリーン
	雨水吐室	26	三俣第一公園下先	0.846 0.973 m ³ /秒	桃ノ木川	TP +108.9	第五排水区 スクリーン
	雨水吐室	28	文京町三丁目9-1先	0.548 0.605 m ³ /秒	端気川	TP +97.94	第六排水区 スクリーン
	雨水吐室	31	文京町三丁目22-15先	1.709 1.904 m ³ /秒	端気川	TP +95.9	第六排水区 スクリーン
	雨水吐室	32	文京町三丁目23-16先	0.834 0.929 m ³ /秒	端気川	TP +95.7	第六排水区 フェンス
	雨水吐室	33	朝倉町四丁目6先	0.096 0.105 m ³ /秒	広瀬川	TP +88.95	第四排水区 スクリーン
	雨水吐室	34	大手町一丁目1-2先	7.468 8.215 m ³ /秒	柳原放水 路	TP +100.0	千代田町 排水分区

(第3表-3)

吐口調書（分流式雨水渠）								
排水区の 名称	吐口の 種類	吐口の 番号	名称	吐口の位置	計画放流量	放流先の 名称	放流先の 水位	摘 要
六供第一 排水区	雨水吐	9-2	六供第一 雨水幹線	六供町 1491-1 先	17.997m ³ / 秒	利根川	TP +93.02	
六供第二 排水区	雨水吐	—	六供第二 雨水幹線	六供町 1056-1 先	7.069m ³ / 秒	利根川	TP +90.79	

(第4表-1)

管渠調書				
排水区の名称	主要な管渠の内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘要
第一排水区	φ 250～φ 1200	1, 030	1	方法：マンホールからの管内目視、清掃 頻度：5年に1回
第二排水区	φ 300～φ 1650	4, 830	0	〃
第三排水区	φ 300～φ 1650	3, 650	3	〃
第四排水区	φ 250～φ 1500	12, 440	5 4	〃
第五排水区	φ 300～φ 1800	6, 540 6, 670	3 2	〃
第六排水区	φ 300～φ 2200	5, 710	3	〃
	B1500×1500～ B1800×1800	810	—	
南部処理分区	φ 200～φ 900	2, 600	1	方法：マンホールからの管内目視 頻度：5年に1回
芳賀処理分区	φ 300～φ 600	6, 630	6	
合 計		37, 610 44, 445	16 20	

*点検箇所は、圧送管の放流先が幹線人孔にあたる箇所及び伏せ越し箇所が幹線人孔の箇所とした。

(第4表-2)

管渠調書（分流式雨水渠）				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位：ミリメートル)	延 長 (単位：メートル)	点検箇所 の数	摘 要
六供第一排水区	B1000×1000～ B3500×2500	2, 220	0	
六供第二排水区	B1200×1000～ B1300×1000	200	0	
合 計		2, 420	0	

(第5表-1)

処理施設調書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (単位：ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処理能力			摘 要
					晴天日最大 (立方メートル)	雨天日最大 (立方メートル)	計画処理人口(人)	
前橋水質浄化センター	六供町三丁目1番地9	7.15	BOD 15mg/ℓ	標準活性汚泥法 凝集剤添加 標準活性汚泥法	51,930 58,216	191,571 216,880	58,161 65,236	全体処理能力(日最大) 63,400m³/日 流入水質 BOD 180 SS 175 BOD 150 mg/ℓ SS 155 mg/ℓ ○前橋し尿処理施設の機能を下水道汚泥処理施設と統合する。 ○前橋水質浄化センター管理棟改築のため施設用地の拡大及び既存構造物撤去予定

(第5表-2)

処理施設の敷地内の主要な施設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
前橋水質浄化センター	沈砂池	6池 5池	長方形平行流池 巾2.0m×長11.0m ×水深(0.4m～0.76m)	滞留時間 42 77 秒	2系
		3池 2池	長方形平行流池 巾2.0m×長11.0m× 水深(0.4m～0.8m)	滞留時間 152 102 秒	3系 合流
		1池 2池	長方形平行流池 巾2.0m×長12.0m ×水深0.3m	滞留時間 73 74 秒	3系 分流
	汚水ポンプ	2台	渦巻き型電動 口径360mm	揚水量 15 m ³ /分	2系
		4台	渦巻き型電動 口径400mm	揚水量 22.5 m ³ /分	
		2台	縦軸斜流型 口径600mm	揚水量 47 m ³ /分	
		6台	縦軸斜流型 口径400mm	揚水量 16 m ³ /分	
		1台	立軸渦巻斜流 口径350mm	揚水量 15 m ³ /分	
		1台	立軸渦巻斜流 口径400mm	揚水量 22.5 m ³ /分	3系 合流
		1台	立軸渦巻斜流 口径450mm	揚水量 26 m ³ /分	
		2台	立軸渦巻斜流 口径600mm	揚水量 47 m ³ /分	
		1台	立軸渦巻斜流 口径700mm	揚水量 61 m ³ /分(休止中)	
		1台	水中渦巻斜流 口径200mm	揚水量 3.9 m ³ /分	
前橋水質浄化センター	ポンプ室	1式	ポンプ室、送風機室水質試験室を収容		
	最初沈殿池	5池	長方形平行流式沈殿池 巾10.0m×長18.0×水深3.2m 巾10.0m×長18.0×水深3.2m	沈殿時間 1.7 時間(晴天時) 沈殿時間 0.4 時間(雨天時) 水面積負荷 44.4 m ³ /m ² /日(晴天時) 179 水面積負荷 180 m ³ /m ² /日(晴天時)	2系
		1池	長方形平行流式沈殿池 巾9.0m×長22.0×水深3.3m(4.5×2)	沈殿時間 2.7 時間 29.0 水面積負荷 29.4 m ³ /m ² /日 1.3	3系 分流
		2池	長方形平行流式沈殿池 巾9.0m×長22.0×水深3.3m	沈殿時間 0.6 時間(雨天時) 16.0 水面積負荷 31.3 m ³ /m ² /日(晴天時) 62.0 水面積負荷 123.1 m ³ /m ² /日(雨天時)	合流

(第5表-3)

処理施設の敷地内の主要な施設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
前橋水質浄化センター	エアレーションタンク	4池	全断面流入方式4系列 巾10.0m×長48.0×水深5.0m	エアレーション時間 4.6 時間 BOD負荷 0.26 kgbod/kgss 12.4	2系
		2池	全断面流入方式 巾14.3m×長36.0×水深6.0m	エアレーション時間 8.1 時間 0.12 BOD負荷 0.18 gbod/kgss	3系
	ブロー	2台	多段ターボブロー	所要空気量 80 m ³ /分	2系
		1台	多段ターボブロー		
		1台	高速軸浮上式ブロー		
		3台	多段ターボブロー	41 所要空気量 63.25 m ³ /分	3系
		2台	多段ターボブロー		
		1台	高速軸浮上式ブロー		
	最終沈殿池	4池	長方形平行流式沈殿池 巾10.0m×長28.3×水深3.5m	沈殿時間 1.9 時間 2 水面積負荷 36 m ³ /m ² /日 5.1	2系
		2池	長方形平行流式沈殿池 巾(4.5×3)m×長35.0×水深2.7m	沈殿時間 3.4 時間 13 水面積負荷 20 m ³ /m ² /日	3系
	汚泥ポンプ	1台	渦巻型電動機直結 口径200mm 無閉塞型	揚水量 4.6 m ³ /分	2系
		2台			
		3台	横軸無閉塞型 口径200mm	揚水量 4.6 m ³ /分	
		1台			
		3台	渦巻型電動機直結 口径150mm 無閉塞型	揚水量 1.5 m ³ /分	
		2台			
		1台	横軸無閉塞型 口径150mm	揚水量 1.5 m ³ /分	3系
		3台	渦巻型電動機直結 口径150mm 無閉塞型	揚水量 2.5 m ³ /分	合流・分流 共通
	塩素混和池	2台	渦巻ポンプ 口径100mm	揚水量 0.5 m ³ /分	合流
		3台	渦巻ポンプ 口径100mm	揚水量 0.5 m ³ /分	分流
	塩素減菌機 次亜塩素酸注入機	2台	湿式真空型 マグネットカップリング式	次亜塩素酸ナトリウム注入量 210L/時 (うち1台予備機)	2系
		2台		次亜塩素酸ナトリウム注入量 60L/時 (うち1台予備機)	3系

(第5表-4)

処理施設の敷地内の主要な施設					
処理施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
前橋水質浄化センター	汚泥濃縮槽	3槽	円形放射流式 内径8.0m 水深3.0m	固形物負荷 59 kg/m ² /日 滞留時間 15 時間	2系
		1槽	円形放射流式 内径10.0m 水深2.0m	固形物負荷 112 kg/m ² /日 18 滞留時間 12 時間	3系
	汚泥脱水設備	4基	遠心分離機	脱水能力 15 m ³ /時・基	
	汚泥炭化設備	2基	外熱スクリュウ方式	炭化能力 49.5 m ³ /日	下水41.8 t 外部7.7 t
	管理棟	1式	管理制御室、事務室、水質試験室電気室等		
	電気設備	1式	高圧受変電設備、配電設備、自家発電電気設備 計装監視制御設備		
	雨天時貯留沈殿池	1池	巾19.6m×長37.0m×深10.4m(有効水深7.4m)	貯留能力 4,000 5,365 m ³ 水面積負荷 26 54 m ³ /m ² /日	(雨天時)
		1池	塩素混和池 巾1.5m×長60.0m×深4.7m	18 滞留時間 35 分	

(第6表-1)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理区の名称	ポンプ設置の位置	敷地面積(単位 アール)	1 分間の揚水量(単位：立方メートル)		摘要
				晴天時最大	雨天時最大	
天川ポンプ場	前橋処理区	天川町1677-2	28	26.16 33.45	99.24	第三, 四, 五, 六排水区
中川ポンプ場	前橋処理区	三河町二丁目 20-6	9	3.77 3.45	18.00	第四排水区
岩神ポンプ場	前橋処理区	岩神町一丁目13	4	2.62 2.40	26.76	第三排水区
大手ポンプ場	前橋処理区	大手町一丁目12	2	1.08 0.99	14.82	第一排水区
紅雲ポンプ場	前橋処理区	紅雲町一丁目24 番地	2	0.11 0.14	2.34	第一排水区
天川大島第一中継 ポンプ場	前橋処理区	天川大島町547-8	2	0.74 0.68	18.48	第四排水区
南部汚水中継ポン プ場	前橋処理区	天川町31-6	5	3.20 3.19	—	南部処理分 区

(第6表-2)

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
天川ポンプ場	ポンプ	2 台	横型斜流	口径 800mm	雨水用
		2 台 1 台	直結立軸渦巻 直結立軸渦巻	口径 450mm 口径 500mm	汚水用
	沈砂池	3 池	鉄筋コンクリート造	巾 3m 長 12.0m	
	ポンプ室	1 棟	鉄筋コンクリート造	311m ²	
中川ポンプ場	ポンプ	4 台	立軸斜流型	口径 250mm	内1台予備
	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造	巾 0.6m 長 6.0m	
	ポンプ室	1 棟	鉄筋コンクリート造	171 m ²	
岩神ポンプ場	ポンプ	3 台	水中汚水用ポンプ	口径 200mm	
	沈砂池	2 池	鉄筋コンクリート造	巾 0.8m 長 3.1m	晴天時0.30m ³ /秒 雨天時0.24m ³ /秒
	操作室	1 棟	コンクリートブロック造	31.07 m ²	
大手ポンプ場	ポンプ	2 台	水中汚水用ポンプ	口径150mm 1台 口径200mm 1台	
	沈砂池	1 池	鉄筋コンクリート造	巾1.0m 長3.0m	
	沈砂池棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	11.7 m ²	
天川大島第一中継ポンプ場	ポンプ	4 台	水中汚水用ポンプ	口径 150mm 2 台 口径 300mm 2 台	
	沈砂池	3 池	鉄筋コンクリート造	巾 1.35m 長 8.7m	
	管理棟	1 棟	鉄筋コンクリート造	690.0 m ²	

(第6表-3)

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の 名 称	主要な施設 の 名 称	個 数	構 造	能 力	摘 要
南部汚水中 継ポンプ場	ポンプ	4 台	水中汚水用ポンプ	口径150mm	内予備 1 台
	沈砂池	2 池	矩形平行流式	巾1.0m×長6.7m	内予備 1 台
	ポンプ室 上屋等	1 式	鉄筋コンクリート造		
	機械棟	1 式	発電機室, 脱臭機 室		

(第7表)

貯留施設調書				
処理区の名称	貯留施設 の 名 称	貯留施設の位置	貯留施設能力 (単位；立方メートル)	摘 要
前橋処理区	昭和町滞水池	昭和町三丁目	550	合流改善対策施設 (未処理放流回数 減)
前橋処理区	岩神町滞水池	岩神町一丁目	570	〃
前橋処理区	城東町滞水池	城東町町四丁目	2,700	〃
前橋処理区	天川町滞水池	天川町	1,800	〃
前橋処理区	南町貯留管	南町一丁目、 二丁目	1,100	〃

表IV-1 施設の設置に関する方針（再掲）

主要な施設		整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考
(事業計画に基づき今後実施する予定の事業に関するものを記載)		指標等	現在 (令和6年度末)	中期目標 (令和12年度末)	長期目標			
汚水処理	整備面積率		100%	100%	100%	—	—	下水道統計資料令和6年度末 (令和7年3月末)
老朽化対策	管路施設	健全度Ⅱの延長 (m)	0	0	0	点的施設、線の施設、面的施設の分類と施設の重要度に応じた点検・調査の実施。健全度Ⅱのスパン対応が必要な箇所に修繕・改築を実施。	対象管きよの管更生、布施替え。マンホール蓋の交換等。	前橋市公共下水道ストックマネジメント計画 (令和2年3月)
	処理場・ポンプ場施設	健全度Ⅱの対象設備箇所数 (基)	0	0	0	健全度を把握し事業計画期間における劣化予測による、対象施設の抽出、および対策事業のLCCの検討	前橋水質浄化センター、天川ポンプ場、岩神ポンプ場、天川大島第一中継ポンプ場、敷島汚水中継ポンプ場の健全度の低い機械・電気設備の更新	
浸水対策	整備目標 55mm/h 当面：浸水被害の軽減 排水区、排水分区数 (箇所)		0	0	1	第二排水区の浸水被害の軽減	管きよ整備 (新設・増径・増補・分水等)、ポンプ施設等の整備、雨水調整池・貯留管の整備、雨水浸透施設の設置。ソフト対策 (維持管理の実施、各種ハザードマップの公表) の組み合わせによる	雨水管理総合計画・当面：令和9年度～令和13年度〔5年間〕、中期：令和14年度～令和18年度〔5年間〕、長期：令和19年度～令和28年度〔10年間〕
	整備目標 55mm/h 中期面：浸水被害の軽減 排水区、排水分区数 (箇所)		0	0	3	第四、第五、第六排水区の浸水被害の軽減		
	整備目標 69.9mm/h 中期面：浸水被害の軽減 排水区、排水分区数 (箇所)		0	0	1	住吉町排水分区の浸水被害の軽減		
	整備目標 50mm/h、63.50mm/h 長期：浸水被害の軽減 排水区、排水分区数 (箇所)		0	0	3	第一、第三排水区、南部の浸水被害の軽減		
耐水化	水害時における機能確保	処理場	揚水機能確保 (管理棟・ポンプ室)	—	—	—	1/200の洪水浸水想定区域外であるため中高度頻度において浸水しないことを確認。	「耐水化計画書」令和3年対象施設
			沈殿池機能確保 (水処理棟)	—	—	—		
			汚泥処理機能確保 (汚泥処理棟)	—	—	—		
	ポンプ場	揚水機能確保6箇所 (汚水)	0	0	6	5年程度で管理ポンプ棟の揚水機能を確保する。	防水扉等の設置	

主要な施設	整備水準						事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考
(事業計画に基づき今後実施する予定の事業に関するものを記載)	指標等			現在 (令和6年度末)	中期目標 (令和12年度末)	長期目標			
耐震化	上下水道一体化計画	揚水施設	耐震化率(%)	0%	0%	100%	急所施設について、令和7年度から令和11年度の5年間で、被災すると極めて大きな影響を及ぼす急所施設を最優先に耐震化を実施。 対策が必要な重要施設に接続する上下水道管路等について、今後、概ね20年間で耐震化を完了することを目指し、このうち令和7年度から令和11年度の5年間で、5施設に接続する上下水道管路等の耐震化を実施	前橋市上下水道耐震化計画による。	「前橋市上下水道耐震化計画（前橋市水道局令和7年1月策定）」（流域関連公共下水道共通項目） 管路施設の現在の耐震化率は令和5年度末時点に記載
			箇所数(箇所)	0	0	1			
		沈殿施設	耐震化率(%)	0%	0%	100%			
			箇所数(箇所)	0	0	1			
		消毒施設	耐震化率(%)	0%	0%	100%			
			箇所数(箇所)	0	0	1			
		処理場	耐震化率(%)	0%	0%	100%			
			箇所数(箇所)	0	0	1			
		ポンプ場	耐震化率(%)	0%	0%	100%			
			箇所数(箇所)	0	0	3			
		管路施設	耐震化率(%)	32.5%	37.1%	100.0%			
			管路延長(m)	14.7	16.8	45.2			
	上記以外	重要な管	耐震化率(%)	98.7%	99.5%	100.0%	原則、老朽化対策に併せて耐震化を実施。重要な幹線は管路施設での可とう継手の設置	ストックマネジメントによる老朽化に併せて耐震化を図る。	下水道総合地震対策計画。耐震化率(管渠)については、前橋市全体のものとする。
			延長(km)	379.5	382.3	384.4			
		ポンプ場	耐震化率	16%	16%	100%			
			対象6施設	1	1	6			
		処理場		0%	0%	100%			
高度処理	—			—	—	—	—	計画放流水質を満たすため施設なし	
合流式下水道の改善	合流式下水道改善率			100%	100%	100%	平成26年度終了	H27年度事後評価実施済	
汚泥の再利用	汚泥炭化率			100%	100%	100%	汚泥炭化による再利用	代替燃料として売却	
その他	なし			—	—	—	—	—	処理施設更新事業に関し、PPP/PFI手法の検討を行い維持管理、施工事業の円滑化を図る
水質浄化センター更新事業							—	—	

2) 施設の機能の維持に関する方針

(1) 主要な施設に係る主な措置（再掲）

① 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	ストックマネジメント計画に基づき、施設の重要度に応じて、概ね 5 年に 1 度点検を実施。また調査は、維持管理計画に基づき 50 年経過管渠からテレビカメラ調査を行う。
汚水・雨水ポンプ施設	汚水ポンプ設備は、概ね 7 年～15 年をめぐりに点検・調査を行い、雨水ポンプ設備は、7 年～20 年をめぐりに点検・調査を行う。
水処理施設 (送風機本体)	概ね 7 年～10 年をめぐりに点検・調査を行う。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	概ね 7 年～10 年をめぐりに点検・調査を行う。

② 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	健全度 2 以下で改築を実施。
汚水・雨水ポンプ施設	健全度 2 以下で改築を実施。
水処理施設 (送風機本体)	健全度 2 以下で改築を実施。
汚泥処理施設	健全度 2 以下で改築を実施。

③ 改築事業の概要（令和 8 年度～令和 12 年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	スパン単位の対策が必要と判定された路線は、更新(布設替)または長寿命化対策(管更生)とする。 スパンに A ランクのたるみや継手ズレがある場合、スパンに A ランクの継手ズレがある場合、更生後に所定の流下能力を確保できない場合、布設替え工法とする。管径が φ500mm 以上の場合、取付管が 3m に 1 箇所以上接続されている場合、住宅密集地での布設替えは難しく、商業地域、住宅地域に布設されている場合、管更生工法とする。
汚水・雨水ポンプ施設	長期的な改築事業シナリオの検討結果で直近に改築対象となった機器に対して、機械・電気設備で次に示す内容で改築要否及び改築方法を検討し、効率的な改築を行う。
水処理施設	機械設備：改築が必要な設備のうち、長寿命化対策検討対象設備(送風機などの部品単位で健全度を算出している設備)については LCC を算定し、改築方法(更新、又は部品交換による長寿命化)を検討する。 電気設備：対象資産で目標耐周年数を超過した設備の他、機械設備の改築と同時にを行った方が効率的となる設備を抽出し、改築対象とする。
汚泥処理施設	〃
管理棟	〃

(2) 施設の長期的な改築の需要見通し（再掲）

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模)	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね 約 3,202 百万円/年	100 年	管渠施設：健全度を考慮した改築を実施したシナリオ 処理場・ポンプ場施設：健全度を考慮した改築を実施したシナリオ

3) 下水道事業に関する財源計画書

次頁以降に下水道事業に関する財源計画書を示す。

(単位：百万円)

イ．経 費 の 部

年 度	建 設 改 良 費					起債元利 償還費	維 持 管理費		その他	計	合 計
	管 渠	ホ ン プ ° 場 処	場	理	計	内 用 地 費					
昭和27年度～ 令和7年度まで	28,270.9 30,783.6	5,630.3 6,078.1		16,025.1 17,656.1	49,926.3 54,517.3	0.0 0.0	73,162.3 77,533.5		0.0 0.0	92,420.9 100,012.4	142,347.2 154,530.2
令和8年度	947.8	40.7	1,608.0		2,596.5		1,214.9			0.0 2,045.3	0.0 4,641.8
令和9年度	898.1	127.9	1,651.9		2,677.9		1,102.7			0.0 1,993.9	0.0 4,671.8
令和10年度	1,019.7	63.0	3,737.8		4,820.5		1,110.9			0.0 2,104.7	0.0 6,925.2
令和11年度	1,010.7	42.0	2,670.8		3,723.5		1,072.8			0.0 2,207.2	0.0 5,930.7
令和12年度	1,263.1	89.2	3,150.5		4,502.3		1,288.2			0.0 2,271.5	0.0 6,774.3
					0.0					0.0 0.0	0.0 0.0
小計	0.0 5,139.4	0.0 362.8	0.0 12,819.0	0.0 16,025.1	0.0 18,321.2	0.0 0.0	0.0 5,789.5		0.0 0.0	0.0 10,622.6	0.0 28,943.8
合計	28,270.9 35,923.0	5,630.3 6,440.9	30,475.1	16,025.1	49,926.3 72,839.0	0.0 0.0	73,162.3 83,323.0		0.0 0.0	92,420.9 110,635.0	142,347.2 183,474.0

(単位：百万円)

ロ. 財 源 の 部

年 度	建 設 改 良 費						維持管理費及び起債元利償還費					合計
	国	費 起	債 起	他 繰 入	会 計 受 益 担 負 金	そ の 他	計	下 水 道 用 料	他 繰 入	会 計 金	そ の 他	計
昭和27年度～ 令和7年度まで	17,694.7 19,107.7	24,909.2 27,857.9	5,690.5 5,690.5	1,632.0 1,861.7	49,926.4 54,517.8	0.0 0.0	52,022.6 56,568.4	40,398.2 43,444.0	0.0 0.0	92,420.8 100,012.4	142,347.2 154,530.2	
令和8年度	874.0	1,592.7	0.0	129.8	2,596.5		1,378.1	667.2		2,045.3	4,641.8	
令和9年度	707.4	1,836.6	0.0	133.9	2,677.9		1,317.0	676.9		1,993.9	4,671.8	
令和10年度	2,126.1	2,453.4	0.0	241.0	4,820.5		1,379.2	725.5		2,104.7	6,925.2	
令和11年度	1,439.7	2,097.6	0.0	186.2	3,723.5		1,413.0	794.2		2,207.2	5,930.7	
令和12年度	1,662.2	2,615.5	0.0	225.1	4,502.8		1,454.2	817.3		2,271.5	6,774.3	
											0.0	
小計	0.0 6,809.4	0.0 10,595.8	0.0 0.0	0.0 916.0	0.0 18,321.2	0.0 0.0	0.0 6,941.5	0.0 3,681.1	0.0 0.0	0.0 10,622.6	0.0 28,943.8	
合計	17,694.7 25,917.1	24,909.2 38,453.7	5,690.5 5,690.5	1,632.0 2,777.7	49,926.4 72,839.0	0.0 0.0	52,022.6 63,509.9	40,398.2 47,125.1	0.0 0.0	92,420.8 110,635.0	142,347.2 183,474.0	
下水道使用料*関連事項												
接続率：99%（令和7年度：初年度）→ 99%（令和12年度：最終年度） 講じる対策： 本事業計画は、ほぼ概成であり下水道接続は良好であるため特には行っていない。 有収率：－%（令和7年度：初年度）→ －%（令和12年度：最終年度） 講じる対策： 合流式下水道であるため、管渠や処理施設の負荷を抑える観点からも不明水対策や管渠の維持管理を行う。 その他の講じる対策： 下水道事業は公営企業会計としており、使用料や処理施設の維持管理費等の透明性を図り住民に下水道事業への関心と協力を得る事の啓蒙を推進する。												